



議会だより

ていすかす

107号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2021.6.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください

令和3年5月7日に開催した第2回登別市議会臨時会において、工藤前議長と杉尾前副議長の辞職に伴い、議長・副議長選挙が行われ、同日付けで新たに辻議員が議長に、千田議員が副議長に就任しました。また、各委員会の委員が新たに選任されたので、議長・副議長就任のごあいさつと全議員の紹介、各委員会構成をお知らせします。

副議長就任ごあいさつ



副議長

ちだ ふみたか
千田 文孝

昨年、本市は市制施行50周年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、あらゆる記念行事が中止に追い込まれました。

市内経済も観光をはじめ、飲食店などが大きな打撃を受け、変異株などの出現により感染者が増加し、未だ収束が見えない状況にあります。

このような中、あらゆる感染拡大防止対策や経済対策が進められ、教育環境や生活スタイル、仕事の在り方などは大きく変化しています。

1日も早く不安な状況からの打開と、経済の立て直しが達せられるよう、二元代表制の一翼を担う議会として責務を果たし、市民の期待と信頼に応えるよう研さんしてまいります。

副議長として議長を支え、より活発な議会運営に尽力致しますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

議長就任ごあいさつ



議長

つじ ひろし
辻 弘之

私は、「多様性を包摂した共生社会づくり」を目指して活動してまいりました。議会運営においても、議員個々が多様性をもって真剣に議論し、住民福祉の向上という共通目的においては、互いを尊重した包摂的な組織となるよう、議長職に誠心誠意、臨ませていただきます。私が最優先すべき方針は、約15年続いてきた議会改革から一旦立ち止まり、整理と改善を行うことにあります。その上で、次世代の議会の在り方を皆さま

と議論し、次世代につなげていく起点の構築に向けて、必要な改革には不断に取り組みさせていただきます。

これまでの「開かれた議会」からさらに先へ。より成果を重視するとともに次世代につなげる「信頼される議会」の実現に向けて、市民の皆さまにおかれましては、より一層のご意見、ご要望をお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

議員の紹介

(五十音順で掲載)



おぐり よしろう
小栗 義朗
公明党



いの まさおみ
井野 正臣
市民・前進



いとう けんた
伊藤 健太
市民・前進



あだち ともや
足立 知也
市政クラブ21



たなか かんじ
田中 寛志
市政クラブ21



すぎお なおき
杉尾 直樹
市政クラブ21



ささき くみこ
佐々木 久美子
日本共産党



こんの まさひろ
今野 幹大
公明党



くどう くにお
工藤 俱二雄
市民・前進



むらい としゆき
村井 寿行
公明党



みやたけ しょうこ
宮武 祥子
市政クラブ21



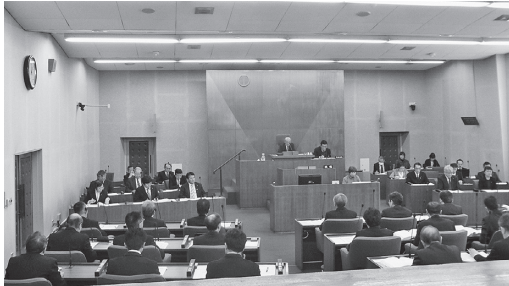
にへい ひでゆき
二瓶 秀幸
市民・前進



なり た あきひろ
成田 昭浩
市民・前進



てん じんばやし よしひこ
天神林 美彦
市民・前進



わたなべ つとむ
渡辺 勉
日本共産党



わか き やすお
若木 康夫
市政クラブ21



よね た とみこ
米田 登美子
市民ネットワーク

予算・決算委員会

委員長 二瓶 秀幸
副委員長 杉尾 直樹

議長を除く全議員で構成
(決算審査時は、議長および監査委員を
除く全議員で構成)

議会運営委員会

委員長 若木 康夫
副委員長 井野 正臣

天神林 美彦 ・ 成田 昭浩
宮武 祥子 ・ 杉尾 直樹
小栗 義郎 ・ 渡辺 勉

生活・福祉委員会

委員長 宮武 祥子
副委員長 佐々木 久美子

成田 昭浩 ・ 二瓶 秀幸
杉尾 直樹 ・ 村井 寿行

総務・教育委員会

委員長 天神林 美彦
副委員長 今野 幹大

千田 文孝 ・ 伊藤 健太
若木 康夫 ・ 渡辺 勉

広聴・公開委員会

委員長 伊藤 健太
副委員長 足立 知也

工藤 俱二雄 ・ 今野 幹大
佐々木 久美子 ・ 米田 登美子

観光・経済委員会

委員長 小栗 義郎
副委員長 工藤 俱二雄

井田 野正 ・ 足立 知也
中野 寛志 ・ 米田 登美子

※議会選出の監査委員に村井寿行議員が選出されました。

令和3年3月16日(火)～19日(金)

予算審査 特集

委員15名が
令和3年度予算を問う

令和3年第1回定例会において、3月16日～19日の4日間、予算・決算委員会（予算審査）を開催し、令和3年度の予算関連議案の審査を行いました。委員15名から124項目にわたる質疑の後、総括質疑を行い、審査は合計で22時間38分に及びました。

令和3年度当初予算の内訳

全会計

383億3,320万円

(前年度当初比8億860万円増)

一般会計

217億3,200万円

(前年度当初比9,300万円減)

※財源不足は発生せず、
記録が残る平成元年度以降で初の均衡予算。

特別会計

104億3,620万円

(前年度当初比740万円増)

公営企業会計

61億6,500万円

(前年度当初比8億9,420万円増)

令和3年度 予算審査の概要

第1回定例会において、付託された「令和3年度各会計予算」9件については、3月16日から4日間にわたり慎重な審査を行いました。

●「一般会計予算」については、歳出を各款ごとに、歳入は全般にわたり、それぞれ質疑を行い、総括質疑終了後、反対討論があり、討論終了後、挙手採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

●「国民健康保険、学校給食事業、介護保険およびカルルス温泉スキー場事業の各特別会計予算」については、歳入・歳出全般にわたり質疑を行い、質疑終了後、全会一致で原案のとおり可決しました。

●「後期高齢者医療特別会計予算」については、歳入・歳出全般にわたり質疑を行い、質疑終了後、挙手採決を行い、賛成多数で原案のとおり可決しました。

●「水道事業会計予算については、収支全般にわたり質疑を行い、質疑終了後、全会一致で原案のとおり可決しました。



↑詳しい質疑の内容を録画中継でご覧いただくことができます。スマートフォン等をお持ちの方は、上記の二次元バーコードからぜひご覧ください。

●「下水道事業会計および簡易水道事業会計予算」については、特に質疑なく全会一致で原案のとおり可決しました。

なお、審査に当たっては、コロナ禍の状況を鑑み、事業や所管のグループごとに進め、答弁の終了した説明員は、随時退席を認めるなどの感染防止対策を徹底しました。

(天神林)

登別市議会 議会中継システム
Noboribetsu City Council

登別市議会録画配信

※別ウィンドウで表示(上で再生できない場合)
※映像が見られない場合
※前の画面に戻る

会議名: 予算・決算委員会(予算審査)
会議日: 令和3年3月16日 午前10時
日程:

- 1 議案第10号 令和3年度登別市国民健康保険特別会計予算について
- 2 議案第12号 令和3年度登別市介護保険特別会計予算について
- 3 議案第14号 令和3年度登別市後期高齢者医療特別会計予算について
- 4 議案第11号 令和3年度登別市学校給食事業特別会計予算について
- 5 議案第13号 令和3年度登別市カルルス温泉スキー場事業特別会計予算について
- 6 議案第15号 令和3年度登別市水道事業会計予算につ

■ご覧いただく各映像は、登別市議会の公式記録ではありません。

Copyright © Hokkaido Government. All rights reserved.

総括質疑

市民・前進



市政クラブ21



質 平成元年度以降初の均衡予算となったが、どのような過程を経て実現できたのか。また、地方交付税や臨時財政対策債を大幅増で見ているが、7月の交付額決定時に減少した場合の対策は。

答 当初予算編成において約9億円の財源不足が生じていたが、国からの地方財政計画に基づき地方交付税等で6億円以上増、市税は約1億5千万円となり、各経費の精査を続け圧縮が実現した。交付額減額の可能性はあるが、執行段階での歳出抑制で対応する。

質 人口ビジョンの試算では、10年ごとに児童・生徒は2割減少する。市内小・中学校の適正配置の推進の考えは。

答 登別市学校適正配置基本方針や今後の児童・生徒数の推移など、丁寧な説明や情報提供に努め、学校適正配置に関する認識をPTAや地域の方々と共有し、子ども達にとって望ましい教育環境について意見交換を行ってきた。

学校の適正配置は、都市計画や公共施設の在り方、財政運営など重要な要素であり、市長部局ともしっかりと連携した上で学校の統廃合の方向性を令和7年度までには出す考えである。

(二瓶・千田)

令和3年度予算は、財政調整基金等の取り崩し無しに予算編成され、平成元年度以降初の均衡予算となりました。しかし、その要因の多くは国が厚い財政措置を講じた結果であり、地方交付税や臨時財政対策債、地方特例交付金などの増額実施によるものとの見解でした。

前年度比で2億円以上の財源不足解消に至ったものの、ごみ関連手数料の引き上げ、3公共施設廃止による歳出減、下水道使用料見直しのルール化による下水道事業会計への繰り出し金の減など、市民にとっては痛みを伴うものでもありました。

公共事業への見解については、国の交付金や有利な起債を活用し、財源や事業費の確保に努めるとの答弁でした。ほかの市内経済対策については、昨年度実施した観光・商業・飲食店などへの支援事業や補助金に一定の効果が見られたことから、令和3年度についても事業者アンケートや聞き取りなどを実施するとともにニーズを把握し、できるだけ早い段階での補正予算措置を行い、その都度対策をまとめ迅速に対応をすることとした。

(杉尾・若木)

予算・決算委員会（令和3年度予算審査）各委員の質疑

市民の命を守る予算化を

北海道後期高齢者医療広域連合の調査によると、本道は他府県と比べて後期高齢者の所得が低いという特徴があり、従来の9割軽減対象者が約22万人、従来の8・5割軽減者が約18万人、また、被保険者の約56%は所得がなく、年金額の減少、消費税10%、軽減特例廃止が生活を圧迫していると考えます。今、国が行おうとしている被保険者の所得に応じた医療費2割負担への方針・検討の中止を、本市は国に求めるべきであると提言しました。

(渡辺)

防災マップ配布後の啓発は

質 防災マップを配布しても、半数の住民しか見ていないという民間の調査結果があるが、市民理解を促す取り組みの考えは。

答 活用については、町内会などの防災研修会などを防災マップに掲載予定であり、災害への備えを、地域の特性に合わせて見ていただきながら、活用を促すことを考えている。

(米田)

総合防災訓練の内容は

質 令和3年10月2日開催予定の総合防災訓練の実施場所は。

答 幌別西小学校・西陵中学校・しんた21で行うこととし、幌別西地区連合町内会に、避難訓練と避難所開設・運営など、多数の参加協力をお願いしたいと考えている。避難訓練については、長雨による土砂災害を想定し、避難勧告等による避難を計画している。町内会を主体とした新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所開設・運営を計画し、事前に図上訓練を行いたい。

(村井)

非常用トイレの備蓄を継続

質 備品購入費の令和2年度決算121万円が、令和3年度は0円の理由は。

答 新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金により、100名分のパティションの購入整備を行った。

質 以前は、非常用トイレの備蓄を整備できないとのことであったが、非常用トイレ処理セットとは。

答 1回ごとの使用タイプで凝固剤・汚物処理袋・保管用外袋のセットで、毎年4千セット、令和11年度までに総備蓄数4万セットを目標に備蓄を行う。

(千田)

セクシャル・マイノリティ理解へ

質 LGBTQと呼ばれる方の割合は3〜5%、それ以上とも言われる。セクシャル・マイノリティに関する職員研修を取り入れるべきと思うが考えは。

答 本市の職員は会計年度任用職員を含め800人を超え、さまざまな市民の方と接する機会があることから、セクシャル・マイノリティに関する知識を深めることは重要であると考えている。他市の研修事例の把握や、担当部局からの情報を得るなど、導入に向けて検討していく。

(足立)

駅自由通路の永続管理に向けて

幌別駅自由通路は数年前に1億円以上をかけて耐震化工事をしており、今後もその維持費に多くの本市自主財源を要する施設となっています。さらに、JR北海道との調整の都合もあり、長寿命化に向けた計画がしづらく、財政的な管理も難しい施設です。今後、この自由通路を施設としてではなく、市道認定（道路として管理）することで、国の各種補助金や有利な起債など、自主財源以外の財源も活用できる管理方法を検討するよう求めています。

(辻)

生活交通路線維持対策の見直しを

現在、本市ではバス事業者に対し、市民の生活に必要なと認められる7路線に約600万円の補助金を交付しています。高齢化の進展や免許返納が今後さらに増加すれば、公共交通の重要性はこれまで以上に重要となります。

市民が要望する路線の調査、常盤町東通から柏木町を経由し、桜木町の従来路線にアクセスするルート、高速バスのルート見直しを含む、中央通を縦貫するバス路線の増便について検討する必要があると提言しました。

(若木)

安全・安心の市民生活

質 コロナ禍における町内会助成金の取り扱いについては。

答 資料の配布や来庁説明の実施。

質 児童虐待防止啓発事業の内容は。

答 既存に加え国が示すキッズスペースや研修受講を行うための予算措置。

質 高齢者等緊急通報機器設置の改善点は。

答 緊急時に契約会社職員が急行する（基本有償）。また、対象者に日中独居者等の追加や鍵の預かりサービスを行う。

(杉尾)

高齢者の健康診査受診率の向上を

質 後期高齢者健康診査の受診率が低いと思われるが、受診率を高めるための取り組みは。

答 これまでの取り組み継続のほかに、令和3年度から実施する通いの場等においても、受診を勧める取り組みを行いたい。

質 通いの場では受診勧奨のほかに、どのような取り組みを行う予定なのか。

答 ※フレイル予防の普及啓発など、健康教育や健康診査の結果等を活用した健康相談を予定している。

(今野)

子育て支援員養成事業の詳細は

西胆振の市町が対象の新事業として、子育て支援員養成研修が開催されます。保育の補助者となる人材の研修に、保育現場での活躍が期待されます。

質 研修の開催に至った経緯と日程は。

答 西いぶり定住自立圏の推進事業の見直しにより、合同開催の提案があった。すでに民間事業者では活用されており、近隣市の開催は、人材の確保や希望者への支援にもつながると考える。日程は、9月ごろの平日を考慮しており、日中の開催を予定している。

(伊藤)

児童虐待を防止するために

質 要保護児童の発生数が令和元年度以降増加傾向にあるが、要因は。

答 平成30年度までは要保護児童発生を世帯数で計上したが、国や北海道では児童ごとの集計としていることや、細かい支援の策定のため、令和元年度から児童ごとの発生数で計上している。全国的に児童虐待件数は増加傾向にあります。これらは警察や行政への近隣住民の通報により保護される児童が増えている状況にあります。虐待を防止する取り組みが重要と考えます。

(井野)



予算・決算委員会（令和3年度予算審査）各委員の質疑

資源回収について周知・啓発を

質 資源回収の紙類とは。

答 紙類とは、新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、紙製容器包装などである。

質 資源回収は多くの町内会で取り組んでいるが、実施されていない町内会もある理由は。

答 役員の高齢化や資源回収の収集業者に対する調整が負担となっている。

質 紙類は減少傾向にあるが対策は。

答 回収量に応じて奨励金を受け取れる制度について周知していきたい。

（佐々木）

ごみは減少していかない

質 フリントルセンター運営管理経費の事業では、ごみ減量の取り組みを行っている。ほとんどの指標で数字が減少していないが、どう捉えているのか。

答 近年、家庭系ごみの排出量は単身世帯の増加による、市販の弁当や惣菜利用が多く、ごみ増加要因の一つである。

事業系ごみの排出量は、観光客入込数の増加が目標達成できない要因の一つと考える。本年4月からのごみ関連手数料の値上げを機にごみ減量化のチラシ配布や事業者へ協力を求めていく。

（二瓶）

地域活性化に向けた人材活用は

質 地域活性化起業人交流事業費の事業内容、効果、能力、予算内訳は。

答 民間企業で培われた人脈、ノウハウなどを活かし、本市観光の魅力向上やコロナ禍により減少した観光客の回復につなげたい。観光行政に携わる本市職員の専門的知識の向上も図れる。

予算額は1千320万円（2名分）で、特別交付税により措置。最大3年間まで従事することができる。

スペシャリスト人材は庁内他分野での活用も考えていくべきと考えます。

（成田）

中学校部活動の充実へ

部活動の質向上を目的とし、専門的知識を持った指導者が指導に当たる部活動指導員が、令和3年度より市内に5名配置されます。

質 指導員が2名増えた理由は。

答 専門的な技術指導を支援し、部活動の充実を図るため。

質 どのように人材を確保するのか。

答 スポーツ団体等への協力を得ながら、民間企業への働きかけについても検討する。

（宮武）

10年ぶりの 複数名による議長選挙

この度の議長選出に際して、辻議員、米田議員の2名の立候補者が登壇し、抱負の表明の後に選挙が行われました。

辻議員の主な表明は、前を向き続けてきた議会改革から一旦立ち止まり、後ろを振り返りながら現状をアップデートしていく議会改善に向けて、各種規則や要綱、規定、申し合わせ事項などの総点検、ICTの活用を目的とした条例の改正など、開かれた議会から信頼される議会に向けた考えが表明されました。

米田議員の主な表明は、これまでの滞りのないスムーズな議会運営を振り返り、会派の垣根を越えた女性議員や超党派議員の活発な活動と資質の向上、委員会外委員の発言の場の強化、市民の声を大切にした議会の役割、公明正大な開かれた議会運営について、ワンチームとなれるよう取り組みを進めていきたいと表明されました。

投票結果は、辻議員が16票、米田議員が3票となり、新議長に辻議員が選出されました。

（伊藤・足立）

議会議中継をスマートフォンなどで閲覧しませんか？

令和3年第2回定例会は6月18日(金)から開催される予定です。本会議や各委員会は、スマートフォンやパソコンなどからでもご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、できる限りご来場しての傍聴はお控えいただき、スマートフォンやパソコンから議会議中継をご覧いただきますよう、ご協力をお願いします。

皆さまからのご意見をお聴かせください！

gikai@city.noboribetsu.lg.jp

問い合わせ

議会事務局 ☎9220

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会



▲議長選挙に立候補した辻弘之議員（左）と米田登美子議員（右）